

鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略  
令和元年度実績に係る効果検証結果 総括表

＜令和元年度実績に係る効果検証の考え方＞  
今回の効果検証は、令和元年度実績を対象に評価が行われているが、「検証会議の意見」欄には、2年度における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取組の改善を求める付帯意見や、その影響を勘案した評価が含まれている。

検証会議の意見

- A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
- B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
- C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

検証会議による検証結果

4つの基本目標に対する評価 (積極・適応戦略)	1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての希望を 「かなえる」	3 まちの魅力 を「みがく」	4 ひと・まちを 多彩に 「つなぐ」	重点戦略				合 計	(参考) 30年度分	
					(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造	(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進	(4)連携中枢 都市圏の 形成			
施策に対 する評価	A	5	7	4	6	0	1	1	1	25	30
	B	4	2	2	1	1	0	1	0	11	6
	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		9	9	6	7	1	1	2	1	36	36

評価(数値目標・KPI)

- a：十分に達成されている
- b：概ね達成されている
- c：あまり達成されていない

(参考) KPI の評価

4つの基本目標 (積極・適応戦略)	1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての希望を 「かなえる」	3 まちの魅力 を「みがく」	4 ひと・まちを 多彩に 「つなぐ」	重点戦略				合 計	(参考) 30年度分	
					(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造	(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進	(4)連携中枢 都市圏の 形成			
KPI	a	5	4	3	4	1	1	1	1	20	22
	b	0	1	1	1	0	0	1	0	4	6
	c	4	4	2	2	0	0	0	0	12	8
合 計		9	9	6	7	1	1	2	1	36	36

○ KPI の評価は、内部基準に基づく絶対評価である。

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)																			
1	1 しごとで 活力を「つくる」	(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組) ①新事業・新産業創出の支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>8</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td>(H28)</td> <td>36</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H26)	8	105	(H28)	36	60	新たなビジネス展開に取り組む事業者数 本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>110</td> <td>104.8%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>42</td> <td>25.0%</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	110	104.8%	c	42	25.0%	KPIの進捗については、「本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率」が目標値を下回り、あまり達成されていない。これは、開発段階のものが未だ事業化されていないためであると考えている。 R元年度の取組状況としては、ヘルスケアなどの分野における事業化支援(事業化後のサポートを含む)や、クリエイティブ産業の育成支援に取り組んだほか、オープンデータについては、本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報に努めた。	専門家による事業化支援や、産学連携のためのマッチング支援、補助事業に対する継続的なサポートのほか、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を引き続き進めていく。 オープンデータについては、利用者の意見・要望を踏まえたうえで、公開するデータの充実を図るとともに、周知広報に努める。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPI「新たなビジネス展開に取り組む事業者数」については、R3年度の目標値において上方修正を行っている。	KPIについては、事業化率の進捗が伸び悩んでおり、新事業・新産業創出の支援に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、① <u>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、新しい生活様式に対応した事業化の取組等も含めて、事業者に対する積極的なサポートに努めるべきである。</u>	B
基準値	目標値 (R元)	単位																						
(H26)	8	105																						
(H28)	36	60																						
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																						
110	104.8%	c																						
42	25.0%																							
2	1 しごとで 活力を「つくる」	(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組) ②経営改善の支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>1,317</td> <td>1,350</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H26)	1,317	1,350	産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,185</td> <td>87.8%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	1,185	87.8%	c	KPIの進捗については、基準値を下回り、あまり達成されていない。これは低金利政策により民間金融機関の中小企業向け貸出が伸びているため、産業振興資金の利用が減少したのと考えている。 R元年度の取組状況としては、創業支援資金等の融資利率を引き下げるとともに、保証料補助拡大の対象となるセミナー等を追加したほか、新事業展開支援資金の融資対象者を拡大した。また、金融機関個別訪問等を通じて、経営改善の支援の取組について周知広報を行ったほか、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援を行った。	R2年度は、より円滑な資金調達を支援するため、創業支援資金において、従来の一般保証に加え創業関連保証(国の特別保証)が利用できるよう対応保証制度の見直しを行うほか、事業承継を推進するため、新たな領域に挑戦する若手後継者によるベンチャー型事業承継を支援する講習会の開催等を行う。 今後も引き続き、事業者が利用しやすい制度の設計や他課及び関係団体と連携して周知広報に努めるとともに、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援に取り組む。	KPIについては、民間金融機関の中小企業向け貸出しが伸びていることから、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①民間金融機関から貸し出しを受けにくい中小企業が利用しやすい仕組みをつくり、積極的に発信するほか、② <u>新型コロナウイルス感染症による中小企業の資金繰りへの影響を踏まえ、官民一体となった支援を行うべきである。</u>	B					
基準値	目標値 (R元)	単位																						
(H26)	1,317	1,350																						
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																						
1,185	87.8%	c																						
3	1 しごとで 活力を「つくる」		(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組) ③人材の確保 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>40</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	-	40	人	首都圏等からのクリエイティブ人材の移住者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20</td> <td>50.0%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	20	50.0%	c	KPIの進捗については、28年度7人、29年度4人、30年度6人、R元年度3人で、単年度あたりの目標値(10人)を下回っており、あまり達成されていない。これは、市の取組の情報がクリエイティブ人材に十分に届いていないことや、移住の決断には時間を要することが原因と考えている。 R元年度の取組状況としては、本市ゆかりのクリエイターの人脈やクリエイティブ関連情報サイトでのWEB広告記事などを活用し、戦略的な情報発信を行うとともに、UIJターンイベントやお試し移住の実施、移住補助金の交付などにおいて、本市独自の取組を行い、移住推進室と連携を図りながら、クリエイティブ人材の誘致に取り組んだ。 また、県外の合同企業説明会等への参加に対する助成を通じて、中小企業の人材確保の支援を行ったほか、産学官連携による会議を開催し、若者の地元定着等に向けた取組の推進を図った。	引き続き、UIJターンイベントや移住補助金の交付などを行うほか、お試し移住の期間等の拡充やWEBサイトの制作、SNS広告やmark MEIZANなどを積極的に活用した戦略的な情報発信を行い、クリエイティブ人材の誘致に取り組む。 また、東京23区の在住者または23区への通勤者が、市内に移住し、中小企業等に就業または起業した場合に、移住支援金を支給するほか、中学生をはじめとする若い世代に地元企業等の魅力発信や情報提供を行うイベントを関係機関と連携して開催する。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPIについては、R3年度の目標値において実質的な下方修正を行っている。	KPIについては、情報発信などの取組が実際の移住につながらず、人材の確保には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、①移住関連WEBサイトの部局間の相互連携や②オンラインを活用したセミナー・相談会などに取り組むほか、③ <u>コロナ禍における若い世代の意識変化を踏まえた取組を実施すべきである。</u>	B				
基準値	目標値 (R元)	単位																						
-	40	人																						
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																						
20	50.0%	c																						

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)															
4	1 しごとで 活力を「つくる」	(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組) ① 商業・サービス業の活性化	空き店舗等の再生などによる新規就業者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>40</td> <td>人 (4年間)</td> <td>8</td> <td>20.0%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	—	40	人 (4年間)	8	20.0%	c	<p>KPIの進捗については、空き店舗の再生により8人の新規就業者がなされたが、あまり達成されていない。これは、人材の育成から空き店舗等の再生に至るには一定の時間を要するためであると考えている。</p> <p>R元年度の取組状況としては、商業・サービス業のさらなる活性化を図るため、商店街等に対して各種支援を行ったほか、空き店舗等の再生を担う人材を育成するため、リノベーション実践セミナーを開催した。そのほか、30年度から開始している創業者と空き店舗のマッチングにより空き店舗の解消を図る創業者テナントマッチング事業の活用を促進を図った。</p>	<p>引き続き、商店街等への各種支援や街なかリノベーション推進事業、創業者テナントマッチング事業により、商業・サービス業の活性化や空き店舗等の再生を担う人材の育成、空き店舗の解消を図る。</p> <p>R2年度は、空き店舗や低利用資源を活用する事業計画の作成を支援するセミナー等を開催し、まちづくりの一端を担う人材を育成するとともに、団地再生とも連携した空き店舗等の有効活用を促進する。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPIについては、R3年度の目標値において下方修正を行っている。</p>	<p>KPIについては、効果が出てくるのに時間がかかることから、商業・サービス業の活性化に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①団地再生の取組と連携した空き店舗等の有効活用や、②リノベーションに関するキーマンの発掘・育成に粘り強く取り組むべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
—	40	人 (4年間)	8	20.0%	c															
5	1 しごとで 活力を「つくる」	(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組) ② ものづくり産業の活性化	本市の事業活用による商談成約件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>11</td> <td>件 (5年間)</td> <td>275</td> <td>107.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	11	件 (5年間)	275	107.8%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>R元年度の取組状況としては、国内外の展示会への出展経費等に助成するとともに、新たに、企業の海外販路拡大への取組段階に応じた支援を関係機関と連携して行った。また、各種アドバイザーを派遣し、経営力や販路拡大などに関する指導等を行った。</p>	<p>引き続き、本市中小企業者等への積極的な周知広報を実施し、国内外での展示会出展を検討している企業の後押しを行う。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPIについては、R3年度の目標値において上方修正を行っている。</p>	<p>KPIについては、ものづくり産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①新型コロナウイルス感染症の影響などに対応した販路拡大への支援策を柔軟に検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
(H26)	11	件 (5年間)	275	107.8%	a															
6	1 しごとで 活力を「つくる」	(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組) ③ 農林水産業の活性化	本市支援による新規就農者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>5</td> <td>人 (5年間)</td> <td>45</td> <td>180.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	5	人 (5年間)	45	180.0%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>R元年度の取組状況としては、新商品開発等に支援し、新たな加工品づくりを促進するとともに、就農相談や技術習得に対する支援のほか、農業次世代人材投資資金の交付などにより、青年就農者の経営安定に努めた。</p> <p>また、農協と連携して、共同販売への加入や直売所への出荷を支援し、新規就農者の販路開拓が図られた。</p>	<p>加工や販売などの専門家の助言や、県内外の事例を紹介するなど、6次産業化に取り組む意欲がある生産者を支援し、6次産業化を促進する。</p> <p>また、本市の農林水産物等のPRを生産者団体等と連携して県内外で行い、販路の拡大を行う。</p> <p>新規就農者の定着に向け、引き続き関係機関と連携し、経営や農業技術の助言・指導を行う。</p> <p>スマート農業については、先進的な活用事例を情報提供するほか、国などの事業の活用にも努める。</p> <p>なお、KPIについては、R3年度の目標値において上方修正を行ったが、その目標値を達成していることから、さらなる上方修正を検討する。</p>	<p>KPIについては、農林水産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①スマート農業の導入を進め、ICTを利用した効果的・効率的な農業に向けたインフラ整備に取り組むほか、②新規就農者の所得向上に向けた取組を継続的に実施していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
(H26)	5	人 (5年間)	45	180.0%	a															
7	1 しごとで 活力を「つくる」	(3) 若い世代をはじめとする雇用機会の拡大 ① 創業・第二創業への支援	本市支援による新規創業者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>36</td> <td>者 (5年間)</td> <td>175</td> <td>97.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	36	者 (5年間)	175	97.2%	a	<p>KPIの進捗については、順調に推移している。</p> <p>R元年度の取組状況は、創業スキル関連講座の開催等を通じて新規創業への支援を着実に推進するとともに、クリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」の企画運営を行った。</p> <p>また、創業支援者に対し、追跡調査を行い、フォロー体制の構築に向けた現状把握を行った。</p>	<p>ソーホーかごしまやmark MEIZANにおいて、セミナー等を実施するとともに、創業後における追跡調査や支援体制の構築、大学と連携した事業の実施などにより、新規創業者等に対する支援に努める。</p>	<p>KPIについては、創業・第二創業への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①新規創業者の追跡調査を踏まえるとともに、リミットワークに対応した支援体制の構築に取り組むほか、②若い世代や外部専門家の積極的なプロジェクト参画について検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
(H26)	36	者 (5年間)	175	97.2%	a															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)														
8	1 しごとで 活力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機 会の拡大  ②企業立地の推進  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>7</td> <td>35 件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H26)	7	35 件 (5年間)	企業立地件数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>34</td> <td>97.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	34	97.1%	a	KPIの進捗については、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、首都圏における展示会への ブース出展や企業立地促進補助制度のPR、市内企業に対 する訪問の強化など、企業立地を推進する活動を積極的に 行った。また、新たに市内製造業の新規雇用者数の要件を 緩和し、市外への流出防止に努めた。 また、連携中枢都市圏構成市で連携したPRや、立地企業 の雇用確保を支援するためのコールセンター見学会などを 実施した。	引き続き積極的な企業訪問を行い、補助制度 や、都市の魅力など本市の強みをPRし、企業立 地のさらなる推進に取組むとともに、フォロー活動 における情報交換等を通じて立地企業の状況把 握や雇用確保への支援を行う。また、連携中枢都 市圏の構成市及び県との連携を図りながら企業 立地を促進する。	KPIについては、企業立地の推進に向け て、十分に達成されている。引き続き、現 状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①新型 コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、 リモートワークなど働き方の多様化に対応 して、戦略的に取り組んでいただきたい。	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
(H26)	7	35 件 (5年間)																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
34	97.1%	a																	
9	1 しごとで 活力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機 会の拡大  ③若者、女性、高齢者等の活躍促進  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>426</td> <td>2,100 人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H26)	426	2,100 人 (5年間)	本市の助成金を活用して雇用される 人数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,042</td> <td>97.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	2,042	97.2%	a	KPIの進捗については、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、経営者・管理職向けのセミ ナーを実施するなど、女性活躍の意義についての理解を深 め、その取組みを促進した。 また、シルバー人材センターの会員数が過去最高を更新す るなど、高齢者の就労機会の拡大が図られた。	引き続き、助成金の周知広報に努めるとともに、 労働局等の関係機関とも連携を図りながら、若い 世代をはじめ、女性や高齢者等の就労促進に努 める。 また、経営者・管理職向けのセミナーや女性管 理職を育成、応援するセミナーを継続的に実施 し、女性の活躍促進に取り組むとともに、関係部 署とも連携を図りながら、女性が働きやすい環境 整備に努める。	KPIについては、若者、女性、高齢者等の 活躍促進に向けて、十分に達成されてい る。引き続き、現状の取組を推進すべきで ある。	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
(H26)	426	2,100 人 (5年間)																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
2,042	97.2%	a																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)														
10	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 ①若者の就業支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>134</td> <td>人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H26)	134	人 (5年間)	トライアル雇用支援金を活用して雇用される若年者等の人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>467</td> <td>66.7%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	467	66.7%	c	KPIの進捗については、人手不足の状況を反映し、実績が減少傾向にあり、あまり達成されていない。 R元年度の取組状況としては、トライアル雇用終了後も継続雇用している事業主に対して支援金の支給を行ったほか、ものづくり分野における事業所とのマッチング支援や高校生を対象とした就職セミナー、学生等を対象とした起業セミナーの開催など、若者の就業支援、起業支援に着実に取り組んでいる。	引き続き、若者の就業支援、起業支援に取り組むとともに、トライアル雇用支援金については、直近の雇用情勢や国の助成金の動向も踏まえながら、周知広報等を通じて利用促進に努める。 また、若者の職場定着については、関係機関と連携を図りながら状況把握に努め、職場定着に関する国の助成金の広報など、連携した取組を進めていくとともに、高校生や新就職者を対象に開催するセミナー等により、勤労観・職業観の醸成を図る。	KPIについては、人手不足の状況を反映し、若者の就業支援に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、①新型コロナウイルス感染症の影響による雇用環境の変化を踏まえて、就労支援の在り方を検討するとともに、②職場定着に向けた支援策の周知や積極的な働きかけに努めるべきである。	B
基準値	目標値 (R元)	単位																	
(H26)	134	人 (5年間)																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
467	66.7%	c																	
11	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(1)若い世代の経済的安定 ②貧困の世代間連鎖の解消 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>310</td> <td>人 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	-	310	人 (5年間)	就労支援した若者等の就職者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>269</td> <td>86.8%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	269	86.8%	b	KPIの進捗については、概ね順調に推移している。 「生活・就労支援センターかごしま」内の生活自立支援センターとハローワーク窓口の連携により、若者等への就労支援をワンストップで行ったほか、生活困窮世帯・ひとり親家庭等の小学5・6年生及び中学生への学習支援(学習会)を、大学生や教員OB等と協力して実施した。母子家庭等自立支援事業では、医療事務講座を実施し、技術習得の機会を提供した。 子どもの生活に関するアンケート調査の結果を踏まえ、R元年度はひとり親家庭等総合相談会を実施するなど、ひとり親支援の充実を図った。また、庁内関係課と連携し、取組の検討を進めた。	「生活・就労支援センターかごしま」によるワンストップでの支援体制を充実するとともに引き続き、関連施策の広報・周知を進め、関係機関と連携し、取組の推進を図っていく。 R2年度は子どもの貧困問題や対策に関する職員向け研修会の開催やパンフレット作成など、庁内外でより連携した取組や啓発をより一層図っていく。 また、ひとり親家庭の就業支援として実施する講習会については、医療事務講座に加え、調剤薬局事務講座を実施し、更なる支援の充実を図る。	KPIについては、貧困の世代間連鎖の解消に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①就労後も必要に応じて適切な支援を行っていたきたい。	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
-	310	人 (5年間)																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
269	86.8%	b																	
12	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ①次世代を担う若者への意識啓発 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>1,600</td> <td>人 (4年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	-	1,600	人 (4年間)	ライフデザインセミナー参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,269</td> <td>141.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	2,269	141.8%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、ライフデザインセミナー事業及び挙式プロデュース事業を、大学・高校・企業等と連携して実施した。また、両事業の前後に、アンケートを実施し、参加者の意識変化の把握を行った。	引き続きライフデザインセミナー事業・挙式プロデュース事業を推進し、男子学生や新社会人を含むより幅広い若年層への意識啓発に努める工夫をし、結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成に取り組んでいく。 なお、KPIについては、これまでの進捗を踏まえ、R3年度の目標値において上方修正を検討していく。	KPIについては、次世代を担う若者への意識啓発に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①アンケート結果を分析し、さらにセミナーの改善を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
-	1,600	人 (4年間)																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
2,269	141.8%	a																	
13	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ②結婚への支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>90</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	-	90	%	婚活事業への参加者の満足度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>82.1</td> <td>91.2%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	82.1	91.2%	a	KPIの進捗については、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、出会いふれあい企業対抗運動会と、出会いサポートイベント(謎解き婚活イベント)を開催し、カップル数が両イベントとも増加したほか、結婚相談所の運営を通じて出会いの場を提供するとともに、R元年度から新たに婚活応援セミナーを実施した。 また、新婚世帯等向けに、市営住宅の優先入居を実施した。	引き続き、出会いふれあい企業対抗運動会や、出会いサポートイベントを開催するとともに、新たな婚活イベントの実施など、出会いの場の提供に積極的に取り組む。結婚相談所については、登録者数や婚約成立数が減少していることから、さらなる周知広報やサービス向上に努めるなど、利用促進を図り、結婚を希望する方の婚活をサポートする。 また、今後も引き続き、新婚世帯等の市営住宅への入居支援に取り組む。	KPIについては、結婚への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①結婚相談所の登録者数などが減少傾向にある背景の分析を進め、結婚相談所の運営方法の見直しやさらなるPR活動に努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
-	90	%																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
82.1	91.2%	a																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価														
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)																
14	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(3) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援	妊娠出産について満足している者の割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>84.1</td> <td>85</td> <td>%</td> <td>88.3</td> <td>103.9%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H27)	84.1	85	%	88.3	103.9%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>母子保健支援員の配置や母子保健サポーターの活動開始など子育て世代包括支援センターの体制整備後、ノウハウも蓄積してきており、母子保健に関する他の事業と併せて、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいる。</p>	<p>子育て世代包括支援センターの機能をさらに発揮し、関係機関と連携しながら、産後早い時期での産婦健康診査を実施するなどして、地域での子育て支援の充実に取り組む。</p> <p>このほか、妊娠期からのハイリスク家庭の把握及び支援充実、訪問指導時の問診票等使用によるハイリスク家庭の把握に努める。また、不妊専門相談センターによるさらなる相談支援の充実を図る。</p>	<p>KPIについては、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①妊産婦に対するメンタル面のケアのほか、②KPIの根拠となるアンケート結果を分析し、妊産婦のニーズに対応した施策の改善や、より戦略的な施策を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																
(H27)	84.1	85	%	88.3	103.9%	a															
15	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ①子育て支援施設の整備・充実	保育所等の待機児童数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>47</td> <td>0</td> <td>人</td> <td>209</td> <td>-344.7%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	47	0	人	209	-344.7%	c	<p>KPIの進捗については、30年度158人より増加しており、保育需要の増加等の理由により待機児童数が依然として解消には至っていないことから、あまり達成されていない。</p> <p>R元年度の取組状況としては、親子つどいの広場などでの年間8,000件を超える各種相談受付や29年度に改定した保育所等整備計画に基づく定員230人分の整備を行った。</p> <p>保育士・保育所支援センターにおいては、マッチング数64件に対して採用決定者63人、うち保育所等に勤務していない者は40人で、潜在保育士の掘り起こしに成果を挙げている。</p> <p>保育士等の処遇改善については、R元年度に、全職員を対象に月額約3千円の賃金改善を行った。</p>	<p>子育て支援施設の整備・充実については、第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童を解消するため、認可保育所の定員増等による受け皿確保を行うほか、保育士・保育所支援センターによる潜在保育士の確保に加え、保育士確保に係る意見交換会や保育士を目指す学生向けのイベントを行うなど、早期の待機児童解消に向けて積極的に取組を進めていく。</p> <p>また、地域の子育て支援機能の充実に向け、親子つどいの広場等においてきめ細かな支援体制を強化するとともに、子育て拠点施設職員のスキルアップや、施設間の連携を図っていく。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、R2年度から取組の成果を図るための新たな指標として、KPIに「保育所等への入所率」を追加している。</p>	<p>KPIについては、保育士確保の困難さから、子育て支援施設の整備・充実に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①潜在保育士の確保とその支援や②保育士の処遇改善をさらに検討するとともに、③保育所等の新設にあたっては事前に十分な分析・検討を行うべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																
(H26)	47	0	人	209	-344.7%	c															
16	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実 ②放課後における児童の健全育成	児童クラブの待機児童数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>171</td> <td>0</td> <td>人</td> <td>68</td> <td>60.2%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	171	0	人	68	60.2%	c	<p>KPIの進捗については、27年度から児童クラブの利用対象児童が小学6年生までに拡大されたこともあり、あまり達成されていないが、施設整備等への取り組みにより、待機児童数は30年度の181人から68人に減少した。</p> <p>R元年度においても、児童クラブの計画的な設置を進めるとともに、処遇改善や支援員等の確保に向けた支援を行った。</p> <p>新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、新たに18校で放課後子ども教室を開校した。</p>	<p>児童クラブについては、現在の待機児童の状況や就学児童数の見込み等から今後の利用希望児童数を分析し、余裕教室の活用や専用施設の設置、民間による設置など、更に整備を進める。</p> <p>また、支援員等の処遇改善に努めるとともに、引き続き、地域との連携による支援員等の確保に向けた支援に取り組む。このほか、放課後児童支援員資格取得の促進や、児童の育成支援に必要な研修の実施にも積極的に取り組む。</p> <p>新・郷中教育推進事業では、各小学校区に放課後子ども教室を開校し、学習や体験・交流活動等に取り組む。</p> <p>なお、27年度に児童クラブの対象児童が小学6年生までに拡大したことを踏まえ、R2年度からKPIの基準値を変更している。</p>	<p>KPIについては、対象学年の拡大により、放課後における児童の健全育成に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①支援員の確保や処遇改善に努め、資格を取得しやすい方策を模索するとともに、②施設環境の充実や資質向上に向けた研修等に取り組んでいただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																
(H26)	171	0	人	68	60.2%	c															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)															
17	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4) 子育て支援の充実  ③ 子育て世帯への経済的支援	出生数に占める第3子以降の割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H25)</td> <td>19</td> <td>%</td> <td>18.2</td> <td>* -80.0%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H25)	19	%	18.2	* -80.0%	c	<p>KPIの進捗については、これまで年々増加傾向にあったが、第1子・第2子の出生数が増加(前年比131人増)したこともあり、前年比1.6ポイント減となったため、あまり達成されていない。</p> <p>R元年度の取組状況としては、多子世帯への助成や就学・通学の援助など、経済的負担軽減を実施するとともに、R元年10月から、保育所等を利用している3～5歳及び0～2歳の住民税非課税世帯の保育料の無償化を実施した。そのほか、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行った。</p>	<p>今後も引き続き、子育て世帯の経済的負担軽減に努めるとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行う。</p> <p>また、こども医療費の助成については、県の補助事業であることから、これまでも県に対して、現物給付方式の導入等について要望してきたが、今後も引き続き、義務教育である中学3年生までの児童・生徒を対象として、所得にかかわらず、医療費の負担軽減を図り、現物給付方式を導入することを要望していく。</p>	<p>KPIについては、第1子・第2子の出生数が増加したこともあり、子育て世帯への経済的支援に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①こども医療費助成の現物給付方式の導入を積極的に進めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
(H25)	19	%	18.2	* -80.0%	c															
18	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(5) ワーク・ライフ・バランスの普及促進	男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>472</td> <td>人 (5年間)</td> <td>1,849</td> <td>123.3%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	472	人 (5年間)	1,849	123.3%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>R元年度の取組状況としては、引き続き、男女共同参画情報誌を配布し、ワーク・ライフ・バランスの広報啓発を図ったほか、アドバイザー派遣により具体的な取組支援を行うとともに、労働局など関係機関と連携を図りながら、働きやすい職場づくりが望まれる事業所に対してもより効果的な取組となるよう、セミナー開催や先進的な取組事例の情報発信を行った。</p> <p>また、イクボス推進会議を開催し、ワーク・ライフ・バランスの先進事例や他企業等の取り組みに関する情報の共有を行ったほか、イクボス推進同盟加盟企業・団体数の増加に努め、29年11月の同盟設立時から大幅に増加(設立時32→R元年度末73)するなど、取組の推進が図られている。</p>	<p>引き続き、男女共同参画情報誌の発行や労働局など関係機関と連携したセミナーの開催など、ワーク・ライフ・バランスの普及啓発を図るとともに、アドバイザーの派遣による具体的な取組支援等に努める。</p> <p>また、引き続きイクボス推進同盟の参加企業・団体の増加に努めるとともに、他事業と連携した取組を進めるなど、取組内容の充実を図っていく。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPI「男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数」については、R3年度の目標値において上方修正を行っているほか、R2年度からワーク・ライフ・バランスの推進の成果を測るための指標として、KPIに「時間外勤務の削減に関する取組を実施している企業の割合」を追加している。</p>	<p>KPIについては、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたオンラインでのセミナー開催などを検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
(H26)	472	人 (5年間)	1,849	123.3%	a															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)														
19	3 まちの魅力 を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ① 食の都づくり  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>4</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	—	4	件 (5年間)	民間主体の新たな食のイベント数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	4	100.0%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、食品関連事業者の育成支援について、新商品開発に対する補助金や商談会に関するセミナーの開催等により、新商品開発や販路開拓等が促進された。 また、民間団体等が実施する“食”のイベント(3事業)に対して支援を行い“食の都”づくりや、まちなかのにぎわい創出を促進した。	新たに食品加工に取り組もうとする事業者に対するセミナーを開催するなど、食品関連事業者の育成支援については引き続き取り組み、新商品開発等を促進していく。 食のイベントの拡充・促進については、2事業に対して引き続き支援を行うほか、新たに2事業を選定する。また、来場者属性の把握・分析について実施団体に働きかける。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPIについては、R3年度の目標値において上方修正を行っている。	KPIについては、食の都づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、① <u>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、テイクアウトやドライブスルー方式の活用など、新たな視点による取組を検討していただきたい。</u>	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
—	4	件 (5年間)																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
4	100.0%	a																	
20	3 まちの魅力 を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ② 歴史、自然等を生かした観光の振興  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>950</td> <td>1,050 万人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H26)	950	1,050 万人	入込観光客数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000.7</td> <td>50.7%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	1,000.7	50.7%	c	KPIの進捗については、あまり達成されていないが、実績値は過去2番目に多い値となっている。 R元年度の取組状況としては、鹿児島ユナイテッドFC等が行う本市観光PR活動等に対して支援を行い、スポーツを通じた観光交流が促進されたほか、平川動物公園やかごしま水族館において、QRコードを用いた多言語対応の「KX鹿児島体験ムービー」による生きものの生態などの解説動画をスマートフォン等で見られるサービスを開始するなど、受入体制の充実が図られた。また、第2期グリーン・ツーリズム推進計画に基づき、グリーン・ツーリズムも着実に推進されている。 一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、鹿児島マラソン2020が中止となるなど、本市観光にも大きな影響が出ている。	スポーツの力やグリーン・ツーリズム等の活用により交流人口の拡大を図ることで、まちなかのにぎわいを維持し、地域経済の活性化につなげる。多様なツーリズムの台頭や新型コロナウイルス感染症の収束後の新たな旅行のトレンドを踏まえ、本市のスポーツツーリズムやグリーン・ツーリズムの方向性について、検討を進める。	KPIについては、歴史、自然等を生かした観光の振興に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、① <u>新型コロナウイルス感染症の影響により、観光のトレンドが大きく変化していることから、水族館や動物公園などにおいて、その魅力を丁寧に分析し、SNSによる情報発信を強化するなど、県内外の需要掘り起こしに積極的に取り組むとともに、② 感染症収束後の観光の在り方などの見直しを検討すべきである。</u>	B
基準値	目標値 (R元)	単位																	
(H26)	950	1,050 万人																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
1,000.7	50.7%	c																	
21	3 まちの魅力 を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ③ 花と緑の回遊空間づくり  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>7.62</td> <td>7.77 m</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H27)	7.62	7.77 m	都市公園の市民一人当たり面積  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7.87</td> <td>166.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	7.87	166.7%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、いずれの取組も概ね計画通りに進捗している。	計画、設計、工事と各段階において関係機関と連携を図りながら、計画的な事業進捗に努める。 また、引き続き、市民や観光客が四季を通じて「南国・鹿児島を感じる都市空間」の創出に取り組む。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPIについては、R3年度の目標値において上方修正を行っている。	KPIについては、花と緑の回遊空間づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、① KPIについては、 <u>次期総合戦略において、公園の利用者数、住民及び観光客のアンケート結果などを活用した指標への見直しを検討していただきたい。</u>	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
(H27)	7.62	7.77 m																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
7.87	166.7%	a																	
22	3 まちの魅力 を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ④ 潤いのある都市景観の形成  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>2</td> <td>5 地区</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	(H26)	2	5 地区	景観形成重点地区  <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	5	100.0%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、指定地区における広報を図るとともに、候補地において住民等の景観への深い理解のもと、景観まちづくり活動が継続されるよう、地元への働きかけ等においては丁寧な説明等を行うなど、計画通りに取り組んだ。	引き続き、市景観計画に位置付けられている候補地において地元との協議等を重ね、協働による取組を推進し、景観づくりに係る合意が図られた後には、地区の指定を目指す。 また、指定した地区における景観まちづくり活動団体等への支援並びに、関係部局と連携や効果的な情報発信を図るなどして、潤いある都市景観の形成に努める。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPIについては、R2年度から「景観形成に関する意見交換会等の延べ参加者数」に入替を行っている。	KPIについては、潤いのある都市景観の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、① <u>地元住民の理解と協働を得るために、住民の参加や自主的な行動を促す支援を検討していただきたい。</u>	A
基準値	目標値 (R元)	単位																	
(H26)	2	5 地区																	
実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																	
5	100.0%	a																	



No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
23	3 まちの魅力 を「みがく」	(2) まちなかのにぎわい創出 ① 集客力・回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>16</td> <td>万人</td> <td>15.0</td> <td>-90.9%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	16	万人	15.0	-90.9%	c	<p>KPIの進捗については、あまり達成されていない。 ハード面における観光路線未整備の影響のほか、天文館ミリオネーションなどのソフト面での集客力向上や、かごりんによる回遊性向上の取組の効果が、中心市街地の日常的な歩行者通行量の増としては未だ現れていないと考えられる。また、令和元年度の歩行者通行量は減少したが、これは平成30年に明治維新150周年や大河ドラマ「西郷どん」の放映により増加した観光客数の反動減や消費税増税後の買い控えによる来街者の減少、市街地再開発事業の影響によるものと考えられる。</p> <p>路面電車観光路線については、基本計画策定委員会を開催し、ルート案等について協議し、複数のルート案を設定するなど事業の推進が図られた。</p> <p>天文館ミリオネーションについては、27年度からR元年度までで延べ約100万人の来場があり、冬期の滞在型観光の振興に寄与したほか、中心市街地で開催されるイベントを支援することでまちなかのにぎわい創出を図った。</p> <p>「かごりん」については、27年3月の事業開始からR元年度末までで延べ778,225回の利用があり、まちなかの回遊性向上などに寄与した。</p>	<p>路面電車観光路線については、県の動向を踏まえながら基本計画の策定に取り組む。</p> <p>天文館ミリオネーションについては、天文館地区の飲食店や通り会など連携したイベントの拡大に努めるなど、冬季イベントの風物詩として定着するよう取り組むとともに、中心市街地でのイベントの充実を図る。</p> <p>「かごりん」については、まちなかの回遊性向上への効果が期待されるため、市民や観光客等による利用促進につながるよう、引き続きサイクルポートの設置検討や情報発信を行う等、さらなる利便性の向上に努める。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、R2年度から取組の成果を図るための新たな指標として、KPII「カゴシマシティビューの乗客数」を追加している。</p>	<p>KPIIについては、集客力・回遊性の向上に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①集客力等のマーケティングや、②市電やかごりん等の移動手段と沿線のコンテンツを結び付ける日常型の体験プログラムの開発、③新型コロナウイルス感染症収束後の集客や人の流れの在り方について検討すべきである。</p>	B					
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																				
(H26)	16	万人	15.0	-90.9%	c																				
24	3 まちの魅力 を「みがく」	(2) まちなかのにぎわい創出 ② 新たな都市拠点の形成	JR鹿児島駅の乗降客数 「かんまちあ」で開催されるイベント数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H24)</td> <td>121.4</td> <td>万人以上</td> <td>118.7</td> <td>-245.5%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>100</td> <td>件</td> <td>194</td> <td>194.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H24)	121.4	万人以上	118.7	-245.5%	b	-	100	件	194	194.0%	<p>KPIの進捗については、概ね順調に推移している。</p> <p>R元年度の取組状況としては、鹿児島駅周辺整備については、新駅舎の供用を開始したほか、かんまちあでのイベント件数が目標値を達成するなど、順調に進捗している。</p> <p>また、本港区における集客力のある施設の整備促進については、県が事業者公募の公募要項(案)を作成した。</p> <p>さらに、中央町19・20番街区、千日町1・4番街区の再開発事業については、概ねスケジュールどおりに進んでいる。</p>	<p>R2年度から3年度にかけて、中央町19・20番街区、千日町1・4番街区及び鹿児島駅前広場が完成することから、これらの施設を中心にさらなるにぎわいの創出と回遊性の向上を図り、中心市街地全体の活性化につなげていく。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、かんまちあで開催されるイベント数のKPIIについては、R3年度の目標値において上方修正を行っている。</p>	<p>KPIIについては、新たな都市拠点の形成に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①鹿児島駅前広場や自由通路の完成による人の流れの変化をフォローアップするほか、②自動車による交通アクセスにも配慮した都市拠点整備を図っていただきたい。</p> <p>また、③KPIIについては、次期総合戦略において、鉄道駅乗降客数以外のデータも活用した指標への見直しを検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																				
(H24)	121.4	万人以上	118.7	-245.5%	b																				
-	100	件	194	194.0%																					

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																				
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)																						
25	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成	「日常生活における生活利便施設が整備されている」と感じる市民の割合 公共交通不便地対策の実施地域数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H28)</td> <td>68.7</td> <td>71.0</td> <td>%</td> <td>69.1</td> <td>17.4%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>地域</td> <td>16</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H28)	68.7	71.0	%	69.1	17.4%	c	(H26)	12	16	地域	16	100.0%	<p>KPIの進捗についてはあまり達成されていない。なお、「日常生活における生活利便施設が整備されている」と感じる市民の割合」はこれまでのアンケート調査の中で最も高い割合を示したが、目標値には達していない。「公共交通不便地対策の実施地域数」は、目標値を達成している。</p> <p>立地適正化計画及び公共交通ビジョンは、それぞれ策定・見直しを行い、推進協議会等を開催して進捗管理を行った。</p> <p>公共交通不便地対策は、28年度に小原地域、小野・伊敷地域の2地域においてコミュニティバスの運行を開始したほか、30年度に常盤地域、平川古屋敷地域の2地域において乗合タクシーの運行を開始した。</p> <p>これらの取組により、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に資する取組の推進が図られた。</p>	<p>立地適正化計画では、届出対応等による住宅建築や誘導施設の動向把握を行うとともに、推進協議会等を開催しながら、計画の着実な推進を図る。</p> <p>公共交通ビジョンでは、関係事業者等と一体となって、公共交通を軸とした交通体系を構築するため、推進会議を開催し、施策の進捗状況の把握や調整等を行い、同ビジョンの推進を図るとともに、次期ビジョン策定に向け取り組む。</p> <p>また、公共交通不便地対策では、周知広報等に努めながら引き続きコミュニティバス・乗合タクシーの運行等を実施する。</p> <p>KPI「公共交通不便地対策の実施地域数」については、現在対策を実施している地域で、対策を継続することを目標としている。</p>	<p>KPIについては、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①コミュニティバスや乗合タクシーの利便性向上に努めていただきたい。</p> <p>また、②KPIの根拠となるアンケートにおいては、生活利便施設の整備状況や交通ネットワークの効果を理解した上で回答できるように改善を図っていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																						
(H28)	68.7	71.0	%	69.1	17.4%	c																					
(H26)	12	16	地域	16	100.0%																						
26	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ②ストックマネジメントの強化	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定・改定数 危険空き家の解体への助成件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>5</td> <td>件</td> <td>4</td> <td>80.0%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>20</td> <td>144</td> <td>件 (5年間)</td> <td>107</td> <td>74.3%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	-	5	件	4	80.0%	b	(H26)	20	144	件 (5年間)	107	74.3%	<p>KPIの進捗については、概ね順調に推移している。</p> <p>R元年度の取組状況としては、個別施設計画の策定に向け取り組んだほか、空き家対策、良質な住宅ストックともに、これまで充実させてきた施策に取り組んだ。また、良質な住宅ストックの形成を促進するため、計画に基づき既存市営住宅の建替、改善を実施した。</p> <p>団地再生では、29年度から団地再生推進庁内検討会を設置し、団地再生の手法や具体策について検討を進めており、R元年度は、定量的な評価をもとに選定した団地で、地域住民等とのワークショップ等を行うとともに、庁内検討会において具体策の検討を行ったほか、学識経験者による市民向けのシンポジウム等を実施した。</p>	<p>公共施設等の計画的な更新・長寿命化については、財政負担の軽減・平準化を図るため、個別施設計画の策定及び各計画を推進するとともに、空き家等対策の強化については、引き続き空き家等対策計画に基づき取り組む。また、29年度に見直した「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、建替や改善を実施するほか、民間住宅については、引き続き補助等の取組を進めることで、良質なストック形成の促進を図る。</p> <p>団地再生の推進については、地域住民等とのワークショップや庁内検討会により具体策の検討を行い、土地利用ガイドプランで団地核に位置づけている団地など29団地を対象とした団地再生計画(仮称)を策定する(R2年度予定)。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPI「公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定・改定数」については、R2年度から「公共施設配置適正化計画に基づく事業完了施設数」に入替を行っている。</p>	<p>KPIについては、ストックマネジメントの強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①危険空き家の解体助成制度の周知をさらに進めるとともに、②団地再生の取組においては、地域住民・大学生等とのワークショップを多くの団地で継続して実施していただきたい。</p>	A	
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																						
-	5	件	4	80.0%	b																						
(H26)	20	144	件 (5年間)	107		74.3%																					
27	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ①地域コミュニティの形成	地域コミュニティ協議会数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>3</td> <td>79</td> <td>団体</td> <td>78</td> <td>98.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	3	79	団体	78	98.7%	a	<p>KPIの進捗については、30年度に3団体が設立され、29年度までに設立された75団体と合わせて78団体となり、順調に推移している。</p> <p>R元年度の取組状況としては、残り1団体の設立支援及び既設協議会へのプラン策定等の活動を支援した。</p>	<p>幅広い団体・世代が連携・協力してまちづくりに取り組んでいくよう、市内全域での協議会設立や協議会における地域コミュニティプランの策定、プランに基づく活動を積極的に支援する。</p> <p>なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、R2年度から地域コミュニティプランに基づく活動等に対する支援の成果を測る指標として、KPIに「地域コミュニティプランに基づき活動する協議会数」を追加している。</p>	<p>KPIについては、地域コミュニティの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①地域コミュニティプランに基づく活動を積極的に支援するとともに、②世代間の偏りや参加住民の固定化などを防ぐため、協議会相互の情報共有による活動の活性化を検討していただきたい。</p>	A						
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																						
(H26)	3	79	団体	78	98.7%	a																					

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																			
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)																					
28	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2) 互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ②協働によるまちづくり	市内のNPO法人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>396</td> <td>420</td> <td>団体</td> <td>392</td> <td>-16.7%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	396	420	団体	392	-16.7%	c	KPIの進捗については、基準値からほぼ横ばいであり、あまり達成されていない。 全国的にNPO法人数の増加は鈍化傾向(28年度は約600法人、29年度は約300法人の増加)となっていたが、30年度には、10年の特定非営利活動促進法の施行以来、初めて減少に転じ、R元年度も同様に減少している。 本市も同様の傾向となっており、29年度に減少に転じ、R元年度は15法人が設立、18法人が解散し、対前年度3法人の減となった。 R元年度の取組状況としては、市民活動団体の組織運営・企画立案のノウハウの習得の支援や、NPO・企業・行政などの多様な主体の連携の促進などの取組を進めている。	今後とも、市民活動団体の育成支援や多様な主体による連携促進を図るとともに、市民活動団体の情報を市としても積極的に発信していくなど、市民活動促進のための取組を継続していく。 本市のNPO法人数については、人口1万人あたりの法人数と比較すると、人口規模が同程度の中核市と比べても突出して多く、市内の法人数がここ5年ほど伸びていない状況からも飽和状態にあるのではないかと考えている。また、国の調査では、休眠状態のNPO法人は全体の約15%となっている。 このような状況から、昨年度の検証会議の意見でもあったとおり、既存のNPOの活動が活発になるよう、また、休眠状態に陥らないような取組が必要と考えている。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、R2年度からKPIに「NPO等が行う活動への助成件数」を追加している。	KPIについては、協働によるまちづくりに向けて、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①既存のNPO活動の活性化に向け支援するとともに、②解散や休眠状態の原因や住民への影響を把握・分析し、必要な対応策を検討すべきである。	B						
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																					
(H26)	396	420	団体	392	-16.7%	c																				
29	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3) 移住の促進	本市への移住相談件数 本市の関連施策を通じた移住者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>100</td> <td>件/年</td> <td>187</td> <td>187.0%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>(H28)</td> <td>17</td> <td>50</td> <td>人</td> <td>22</td> <td>44.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	—	100	件/年	187	187.0%	a	(H28)	17	50	人	22	44.0%		KPIの進捗については、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、ポータルサイトの新設やふるさと帰郷支援センターへの入会などにより、本市の魅力や生活環境の効果的な情報発信等の取組を強化するとともに、引き続き、移住支援コーディネーターによる、移住希望者のニーズに合わせた情報提供や相談対応、移住後のフォローアップ等の支援を行ったほか、東京や大阪などでの移住関連イベントにも参加し個別相談を行うなど、相談体制の充実を図り、本市への移住促進に向けた取組を推進した。	R2年度は、新たに本市への移住を検討している方を対象に移住体験ツアーを実施するとともに、引き続き、ポータルサイト等を活用した本市の魅力や生活環境の効果的な情報発信に取り組むほか、移住支援コーディネーターによる相談対応や移住関連イベントへの参加などにより相談・フォローアップ体制の充実を図り、幅広い世代の本市への円滑な移住を促進する。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPI「本市への移住相談件数」については、R2年度から「移住セミナー等における延べ相談件数」に入替を行っている。	KPIについては、移住の促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、①ポータルサイトによる情報発信や②移住希望者のニーズの把握と移住後のフォローアップの充実を図るとともに、③新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた施策の強化・見直しを検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																					
—	100	件/年	187	187.0%	a																					
(H28)	17	50	人	22	44.0%																					
30	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4) 都市間の交流・連携 ①国際交流の推進	国際交流事業への参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>11,523</td> <td>12,700</td> <td>人</td> <td>13,675</td> <td>182.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	11,523	12,700	人	13,675	182.8%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 R元年度に新たにフランス・ストラスブール市とパートナーシップ協定を締結したほか、姉妹都市をはじめとする多くの国々の都市への青少年の派遣等を通じて、それぞれの特性に応じた多彩な交流を行い、次代を担う国際性豊かな人材の育成及び本市の国際化の推進に寄与した。 また、市国際交流財団と連携し、市民主体の幅広い国際交流活動を促進することにより、市民の国際相互理解・国際協力意識の高揚、多文化共生の地域づくりの推進が図られた。	引き続き、姉妹友好都市をはじめとする多くの国々の都市との多彩な交流の推進、次代を担う国際性豊かな人材の育成に取り組む。 また、R2年度から供用開始した国際交流センターを拠点として、市民主体の国際交流活動の促進に向けた取組等をさらに推進するとともに、市電姉妹友好都市号の全面リニューアル及び市電ストラスブール号を新たに運行するなど、姉妹友好都市等を市民がより身近に感じられるようPRを強化する。 さらに、本市における“アジアの日常化”に向け、未来を担う子ども・若者をターゲットの一つとし、多文化共生の推進も主な取組として盛り込んだアジア戦略を官民連携して推進する。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPIについては、R3年度の目標値において上方修正を行っている。	KPIについては、国際交流の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①子どもたちや市民間の交流拡大に取り組むとともに、②新型コロナウイルス感染症の影響で国際交流が困難な中においても、県内在住の外国人との交流など、世界を身近に感じられる機会・体験を提供する取組を検討・工夫していただきたい。	A						
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																					
(H26)	11,523	12,700	人	13,675	182.8%	a																				

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見													
				施策の進捗等（R元年度まで）	今後の方向性(考え方)														
31	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4)都市間の交流・連携 ②国内の都市との多様な交流・連携	都市間連携に係る実施事業数 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 19</td> <td>25</td> <td>件</td> <td>25</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26) 19	25	件	25	100.0%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、九州初となる北前船寄港地フォーラムを本市で開催するとともに、各寄港地の実施する同フォーラムに参加するなど連携、交流を図った。また、本市のクリエイティブ産業振興の取組等を全国へ情報発信するため、渋谷区においてイベントを開催したほか、各都市のイベントへの相互参加、九州縦軸の4市連携の観光プロモーション、職員の人事交流などを引き続き行った。	各都市と本市の個性や共通点などを把握したうえで新たな連携事業の創出を検討するとともに、連携の効果が市民に伝わるよう機会を捉えた周知広報に努める。 また、官民の連携した取組についても、観光や産業、環境の分野などにおいて、引き続き検討を行う。 なお、KPIについては、目標値を達成していることから、R3年度の目標値において上方修正を検討する。	KPIについては、国内の都市との多様な交流・連携に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①官民連携した取組を進め、市民への積極的な情報提供や交流・連携の見える化を図るほか、②新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえたオンライン交流などを進めるとともに、③収束後にに向けた準備も検討していただきたい。	評価 A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)														
(H26) 19	25	件	25	100.0%	a														

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																	
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)																			
32	1 世界基準の観光地域づくり	(1)世界に誇りうる地域資源の活用、(2)外国人観光客の誘致・受入体制の整備	外国人宿泊観光客数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>12</td> <td>26 万人</td> <td>49.3</td> <td>266.4%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	12	26 万人	49.3	266.4%	a	KPIの進捗については、目標値を達成し、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、世界文化遺産については、案内所への公衆無線LAN等の設置など、受入体制の充実を図った。また、磯新駅については、事業主体、費用負担の基本的な考え方がとりまとめられ、ジオパークについては、世界ジオパーク認定に向け、始良市、垂水市へのエリア拡大に向けた取組を進めた。 鹿児島観光コンベンション協会については、組織・人員体制の充実を支援し、DMO戦略プランに基づく、官民連携事業が進められたほか、東アジア・東南アジアからの誘客に向け、市場に応じた効果的なプロモーション等を行うとともに、外国人観光客の満足度を高めるため、民間事業者を支援し、受入体制の充実を図った。	世界文化遺産とジオパークの相互連携による一体的な情報発信や活用など、効果的な事業の推進を図るとともに、戦略的なプロモーションを引き続き実施していく。 施策の推進にあたっては、外国人観光客のニーズや属性等の情報収集・分析、衛生対策の強化などの受入体制の充実、関係機関と連携した誘致プロモーションなどにより、外国人宿泊観光客の回復に取り組む。 新型コロナウイルスや国際情勢等の動向を注視しながら、KPIの設定を検討する。	KPIについては、世界基準の観光地域づくりに向けて、十分に達成されているが、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、①外国人のニーズ等の把握・分析や受入体制の充実に取り組むとともに、②SNS発信力の向上に努めるほか、③感染症の影響により見直しが必要なものを検討すべきである。 また、④KPIについては、R2年度における感染症の影響が明らかであることから、その動向を注視しながら適切な時期に見直しを検討すべきである。	B					
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																			
(H26)	12	26 万人	49.3	266.4%	a																			
33	2 健“高”医“良”都市の創造	(1)健康と生きがいを実感できる市民生活の提供	新たなヘルスケアビジネスの展開に取り組む事業者数  介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>8</td> <td>65 事業者 (5年間)</td> <td>63</td> <td>96.9%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>51.7</td> <td>55.5 %</td> <td>55.9</td> <td>110.5%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	8	65 事業者 (5年間)	63	96.9%	a	(H26)	51.7	55.5 %	55.9	110.5%	KPIの進捗については、順調に推移している。 R元年度の取組状況としては、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出の促進をはじめ、「生涯活躍のまち」を形成する事業主体の支援や高齢者の相談・支援体制の構築、生活援助を行うボランティア団体や地域で介護予防活動を展開する団体の支援等を行った。 市立病院では地域医療支援病院として、他の医療機関との連携や地域で必要な医療を確保するための医療機関相互の機能分化を推進した。	引き続き、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出を図るため、関係機関と連携しながら、ビジネスアイデアの創出とその事業化支援に取り組む。 「生涯活躍のまち」形成に向け、引き続き、喜入地域における事業主体の取組を支援し、自走化・自立化を促進するとともに、その取組の情報発信に努めながら更なる事業の波及を目指して、新たな事業主体を募集・選定する。 地域包括ケアの中核的役割を担う地域包括支援センターの機能を強化するなど、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスの一体的な提供体制の充実・強化を図るとともに、引き続き「よかよか元気クラブ」の活動に対し、県補助金を活用したポイントを付与するなどして地域で活動する団体を増やし、継続した活動ができるための支援を行う。 市立病院では地域医療支援病院として、地域の医療機関との医療連携や相互の機能分化を推進するため、医療機関への訪問等の取組を充実していく。 なお、これまでの進捗や計画期間の延長を踏まえ、KPI「介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合」については、R3年度の目標値において上方修正を行っている。	KPIについては、健康と生きがいを実感できる市民生活の提供に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、①KPIについては、次期総合戦略において、「よかよか元気クラブ」などの取組の増加を目指すような指標への見直しを検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																			
(H26)	8	65 事業者 (5年間)	63	96.9%	a																			
(H26)	51.7	55.5 %	55.9	110.5%																				
34	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	(1)大学との連携強化	市内大学生の県内就職率  市内6大学との新規連携事業・取組数  <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>61.7</td> <td>69.7 %</td> <td>56.5</td> <td>-65.0%</td> <td rowspan="2">b</td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>34 件 (3年間)</td> <td>56</td> <td>164.7%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	61.7	69.7 %	56.5	-65.0%	b		—	34 件 (3年間)	56	164.7%	KPIの進捗については、概ね順調に推移している。なお、「市内大学生の県内就職率」については、社会経済情勢や雇用環境など諸要因もあり、基準値を下回った。 R元年度は、「まちづくり未来の担い手」育成事業として、市内大学生を対象に課題解決型インターンシップを実施し、次期総合計画の策定に向けた取組への学生の参画を通して、学生の発想をまちづくりに生かすとともに、地元で活躍できる人材育成につなげることができた。 また、各大学とのその他の連携事業・取組についても、充実・深化を図った。	R2年度は、次期総合計画に関して課題解決型インターンシップを実施するとともに、基本構想(案)について若者への周知や意見聴取、まちづくりに対する若者の意識醸成を目的に「若者会議(仮称)」を開催するほか、さまざまな分野において、各大学との連携事業・取組をさらに充実・深化させる。 なお、KPI「市内6大学との新規連携事業・取組数」については、R3年度の目標値において上方修正を行ったが、その目標値を達成していることから、さらなる上方修正を検討する。	KPIについては、大学との連携強化に向けて、概ね達成されている。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、①課題解決型インターンシップや若者会議を通じて、地元で活躍できる人材育成を進め、②地元企業との連携にも積極的に取り組むべきである。	B
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)																			
(H26)	61.7	69.7 %	56.5	-65.0%	b																			
	—	34 件 (3年間)	56	164.7%																				

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等 (R元年度まで)	今後の方向性(考え方)															
35	3 大学との 連携強化と ふるさと教育 の推進	(2)ふるさと教育の推進	郷土教育に係る体験活動の実施率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>90.6</td> <td>100 %</td> <td>100</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	(H26)	90.6	100 %	100	100.0%	a	<p>KPIの進捗については、全ての小・中学校で郷土教育に係る体験活動を実施しており、順調に推移している。</p> <p>「かごしま創志塾・ジュニア創志塾」では、郷土の歴史・文化、明治維新で活躍した先人たちの高い志と行動力について学ぶカリキュラムを実施し、郷土に対する愛着心の育成や卒業生・現職生のネットワーク構築、プログラムの周知強化に努めた。</p> <p>職場体験活動では、全ての中学校で実施しており、生徒の希望に沿うよう、受入企業等の開拓に努めた。</p>	<p>今後とも、郷土教育に係る体験活動を推奨するとともに、各学校において確実に実施するよう指導を継続する。</p> <p>また、「かごしま創志塾・ジュニア創志塾」の実施にあたっては、必要に応じてカリキュラムの見直しを行うほか、同窓会や卒業生の活躍の場の充実を図るとともにホームページ等での情報提供に努め、卒業生相互のネットワーク構築に取り組む。</p> <p>職場体験活動では、これまで以上に働くことの意義や喜びなどを学べる活動内容を充実するよう指導を継続する。</p>	<p>KPIについては、ふるさと教育の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①若者が地元貢献に対する自分の役割を実感できるような取組を工夫・検討していただきたい。</p> <p>また、②KPIについては、次期総合戦略において、体験活動の参加者数や学生の意識変化などを評価する指標への見直しを検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
(H26)	90.6	100 %	100	100.0%	a															
36	4 連携中 枢都市圏の 形成	(1)圏域全体の経済成長のけん引、 (2)高次の都市機能の集積・強化、 (3)圏域全体の生活関連機能サービスの向上	連携事業数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R元)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R元)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R元)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>25</td> <td>事業 (5年間)</td> <td>27</td> <td>108.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)	-	25	事業 (5年間)	27	108.0%	a	<p>KPIについては、目標値を達成し、順調に推移している。</p> <p>また、具体的な取組の進捗としては、4市の幹事会やビジョン懇談会、市長会議を開催し、かごしま連携中枢都市圏ビジョンの適切な進行管理を図った。</p>	<p>引き続き、連携事業の効果的な実施に取り組むとともに、検討中の連携事業やビジョンに掲載していない新たな連携事業については、実施に向けて積極的に検討・協議を行うなど、連携中枢都市圏の着実な推進を図る。</p>	<p>KPIについては、連携中枢都市圏の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、①市民の利便性の向上や連携による効果が高い事業を4市足並みを揃えて取り組んでいただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R元)	単位	実績値 (R元)	対目標値	評価 (R元)															
-	25	事業 (5年間)	27	108.0%	a															